



2021～2022

サンローズ通信



みなさん、「認知症サポーター」を知っていますか？厚生労働省が2005（平成17）年から「認知症を知り地域をつくるキャンペーン」を認知症サポーターキャラバンと名付け、全国で認知症サポーターの養成をおこなっています。東成区でもこの活動を応援すべく、東成区キャラバン・メイト連絡会という任意のチームが存在し、区内の住民や企業の方々へ『認知症に対して正しく理解し、偏見をもたない地域にする』ための普及啓発活動をおこなっています。

表紙の写真は、大阪市立宝栄小学校6年生と大阪市立相生中学校2年生の生徒たちです。どちらの生徒たちも皆、真剣な学びの時間となり「できること探し」の大切さや「認知症の人への望ましい接し方」に気づき、応えてくれました。この活動を継続することで、きっと東成区は、認知症の人や家族を温かい目で見守ることのできる地域になることでしょう。

社会福祉法人 山水学園 特別養護老人ホーム サンローズオオサカ
大阪市東成区神路1丁目10番3号
TEL: 06-6974-7388 FAX: 06-6974-7391

日	曜日	12月予定
1	水	書道喫茶室
2	木	書道喫茶室
3	金	手芸喫茶室、コーラス部デイ
4	土	もの作りデイ、コーラス部デイ
5	日	
6	月	手芸喫茶室
7	火	カラオケデイ
8	水	書道喫茶室、コーラス部デイ
9	木	理美容入居、書道喫茶室
10	金	手芸喫茶室、カラオケデイ
11	土	もの作りデイ、コーラス部デイ
12	日	
13	月	手芸喫茶室
14	火	カラオケデイ
15	水	法律相談（予約は柴田・更谷まで）
16	木	書道喫茶室
17	金	手芸喫茶室、カラオケデイ
18	土	もの作りデイ
19	日	忘年会入居
20	月	手芸喫茶室
21	火	カラオケデイ
22	水	書道喫茶室
23	木	書道喫茶室
24	金	手芸喫茶室
25	土	
26	日	
27	月	手芸喫茶室、おやつパパデイ
28	火	カラオケデイ
29	水	書道喫茶室
30	木	↑デイサービス休み（12/30～1/3） ↓デイあかね休み（12/30～1/3）
31	金	

日	曜日	1月予定
1	土	元日
2	日	
3	月	
4	火	デイサービス、デイあかねサービス開始
5	水	書道喫茶室
6	木	書道喫茶室
7	金	手芸喫茶室、カラオケデイ
8	土	もの作りデイ
9	日	
10	月	成人の日、手芸喫茶室
11	火	カラオケデイ
12	水	書道喫茶室
13	木	書道喫茶室
14	金	手芸喫茶室、カラオケデイ
15	土	もの作りデイ、コーラス部デイ
16	日	
17	月	手芸喫茶室
18	火	カラオケデイ
19	水	法律相談（予約は柴田・更谷まで）
20	木	書道喫茶室
21	金	手芸喫茶室
22	土	もの作りデイ
23	日	
24	月	手芸喫茶室
25	火	カラオケデイ
26	水	書道喫茶室
27	木	書道喫茶室
28	金	手芸喫茶室、カラオケデイ
29	土	もの作りデイ
30	日	
31	月	※予定は予告なく変更となる場合があります

●サンローズオオサカの理念

自分らしい豊かな暮らしを...

●職員の行動指針:

私たちの人間としての質

～人間か～を高めます

- *あなたの声を(声にならない声も含め)大切に受け取ります《愛》
- *どんな支援も「できない」ではなく、「やってみる」から始めます《挑戦》
- *私たちは、私たちの仕事に誇りをもって行きます《誇り》

寄付・寄贈の欄

(令和3年11月)

山口 雄康 様 (車いす)

ありがとうございました。施設利用者さまのために使用していただいたこと、利用者さまのために大切に使用させていただきます

※寄付・寄贈の欄は、施設機関紙への掲載可否について意思確認をおこなったうえで掲載させていただきます。

(編集後記)

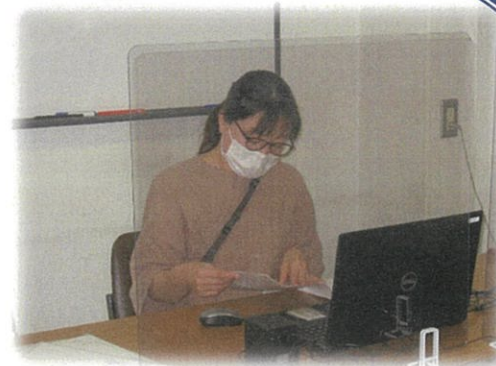
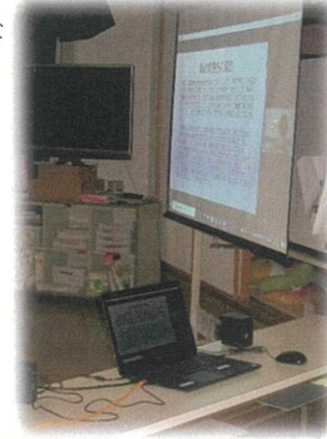
2021年が終わろうとしています。新型コロナに翻弄された1年になりました。しかし正しく恐れながら前へ進んだ年でもありました。「東京2020オリンピック・パラリンピック」をやり遂げたことや、高いワクチン接種率から入場制限の緩和などです。また、私たちの行動変容も起き「新しい生活様式」が基本となり、外ではマスクを着けていないと不安になったり、建物の出入り口では手指消毒液がどこかと探したりしませんか？この新型コロナが流行しなかったら、私たちの業界ではオンライン会議、研修会なども縁のないものだったと感ずります。さあ！2022年どんな1年となるのか。私たちも皆さまも、前を向いて素敵な年となることを願っています。(広報：横田隆作)

*使用した写真は、ご利用者又はご家族の承諾を得て掲載しています。

施設でも、自宅からでも新しい研修の形 オンラインリモート研修を実施しまし

新型コロナウイルスの影響で、「新しい生活様式」が始まり、感染症対策を日常生活に取り入れることが求められるようになりました。その一つに研修や勉強会等のあり方があります。今までは大きな会場にたくさんの人が集まり、いわゆる「密」な状態でおこなわれてきましたが、現在はそれが難しくサンローズでも研修は小さい規模での部署内研修が主になっています。今回は、東成区内の事業所から有志のメンバーが集まり、「区内の認知症ケアの質の向上を目指す」ための取り組みをおこなっている東成区認知症ケア実践者の会が主催のオンライン研修会のホストをサンローズオオサカが実施いたしました。

写真ではサンローズの職員だけがスクリーンを見て学んでいるように見えますが、画面の向こうにはたくさんの他事業所の方々も一緒にオンライン上で研修を受けておられます。お招きした講師は、滋賀県からリモートで研修を実施してくださいました。また、サンローズの職員の中でも参加したいけど当日休みだからなあ、という職員も自宅や外でも携帯電話からでも研修を受けることができました。約75名の方が参加されたそうですが、今後はこのような研修会が主流になってくるかもしれないですね。



サンローズオオサカデイサービスセンターのーコ

マ

おいしそう～

新型コロナウイルスの影響でしばらくお休みにしていた「おやつパパ」が再開されました。月に1回の開催ではありますが、男性のご利用者さんが多い月曜日に実施しています。この日はアップルパイ！男性のご利用者さん5名がスタッフと共に作っていただきました。機能訓練室で作っていただきましたが、1階のフロア全体に甘くていい香りが充満し、みんな待ちどおしい時間でした。どうやら味もバッチリだったようです。



あなたに「この本」を..

今回ご紹介する本は、今年の11/10に講談社から発売された著者：渡辺哲弘（わたなべてつひろ）さんの1冊！認知症の人は何を考えているのか？-大切な人の「ほんとうの気持ち」がわかる本-です。渡辺先生には、本号の上段記事に載っている「東成区認知症ケア実践者の会」が主催のオンライン研修に講師として滋賀県よりご参加いただきました。

研修会の内容もわかりやすく非常に勉強となりましたが、その研修会の内容を更に詳しく教えてくれるのが、この1冊です。ケア提供者はよく「寄り添う」ことが大切と声に出しますが、本当の「寄り添う」とは何かから始まり、最終章では、認知症の人が安心するケアの具体的な「事例集」まで載っていました。家族介護者だけでなく、我々ケア提供者必見の1冊となっています。ぜひ手に取ってみてください。

発行者：講談社
著者：渡辺哲弘



知っとこ☆持っとこ☆備えとこ☆おまもりネット 【宝栄地域】おまもりネット相談会の様子

知っとこ☆持っとこ☆備えとこ☆おまもりネット



東成区では、知っとこ☆持っとこ☆備えとこ☆を合言葉に「おまもりネット事業」が展開されています。手帳とカードを活用することで、周りの方に普段の暮らしぶりを伝えることができ、それにより、地域福祉活動と福祉サービスをつなぎ、地域で安心して暮らし続けることができます。この手帳とカードが地域で普及することを願って、宝栄地域ではイズミヤ、大阪厚生信用金庫、介護ショップケアフルの協力のもと、相談ブースを開催しています。登録は無料です。「自分には関係ない」と思わず、興味を持っていただければと思います。

お問い合わせ：東成区各校下社会福祉協議会または、東成区社会福祉協議会まで

お知らせコーナー



マスクは正しく
つけましょう！！
咳エチケットも

施設のオンライン及び対面の面会について

サンローズオオサカでは、長期に渡り入居者の方の面会が中止となっているため、オンライン面会を開始しました。Zoomアプリを使用するため、ご家族に施設まで来ていただいて別室からパソコンを使用し、ご面会いただく方法と、ご自宅からパソコンやスマートフォンにアプリをダウンロードしていただく方法の2種類がございます。

詳しくは、事務課までお問い合わせください。

(期間) 令和3年11月6日(土)～**当面の間**
対面での面会は、12月9日(木)～



※ご面会については、事前予約制となっております。面会にあたっての留意事項は、関係者の皆さまにお知らせしておりますので、ご確認のうえご予約ください。

